

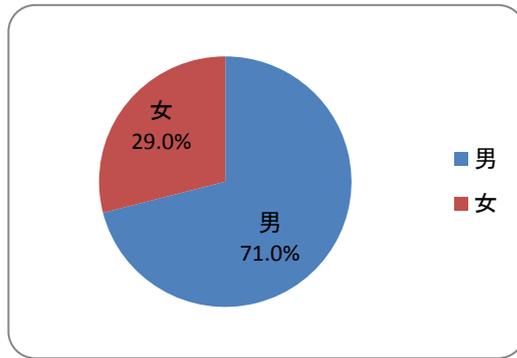
市政モニター調査結果(食育に関する調査)

○調査対象者 市政モニター(43人)
 ○調査期間 平成26年8月18日～9月1日
 ○回答者数 31人(回答率72.1%)

【回答者のプロフィール】

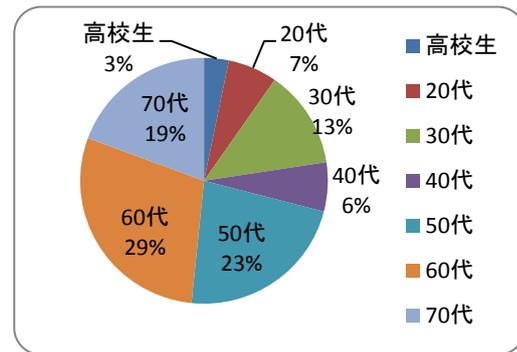
<性別>

	回答数	割合
男	22	71.0%
女	9	29.0%
合計	31	100%



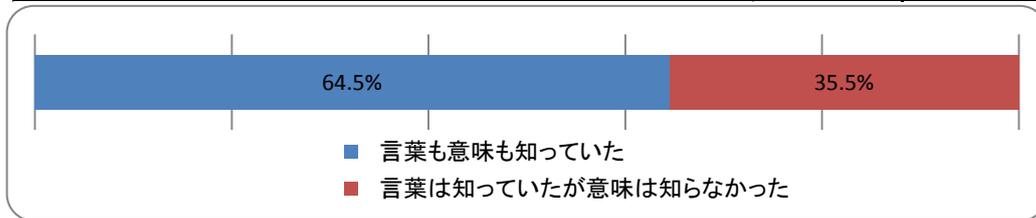
<年齢等>

	回答数	割合
高校生	1	3.2%
20代	2	6.5%
30代	4	12.9%
40代	2	6.5%
50代	7	22.6%
60代	9	29.0%
70代	6	19.4%
合計	31	100%



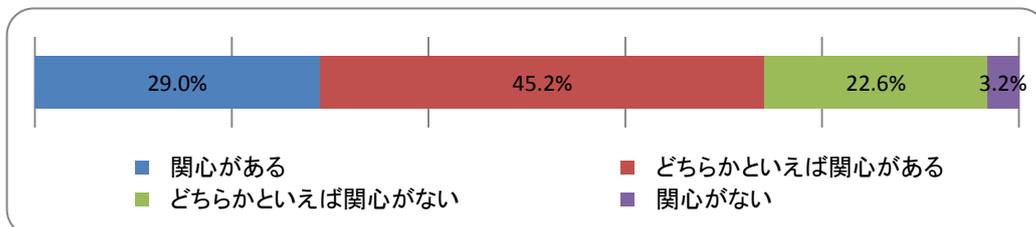
【1】「食育」という言葉やその意味を知っていましたか。

	回答数	割合
言葉も意味も知っていた	20	64.5%
言葉は知っていたが意味は知らなかった	11	35.5%
言葉も意味も知らなかった	0	0.0%
合計	31	100%



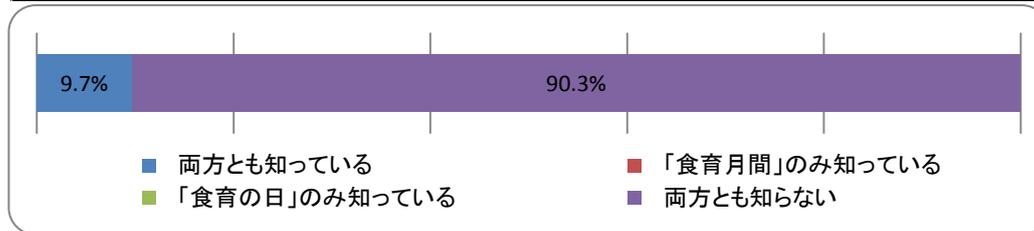
【2】「食育」に関心がありますか。

	回答数	割合
関心がある	9	29.0%
どちらかといえば関心がある	14	45.2%
どちらかといえば関心がない	7	22.6%
関心がない	1	3.2%
わからない	0	0.0%
合計	31	100%



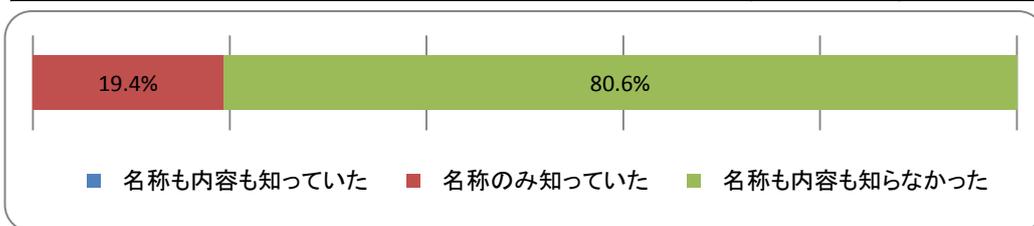
【3】「食育月間」(毎年6月)や「食育の日」(毎月19日)を知っていますか。

	回答数	割合
両方とも知っている	3	9.7%
「食育月間」のみ知っている	0	0.0%
「食育の日」のみ知っている	0	0.0%
両方とも知らない	28	90.3%
合計	31	100%



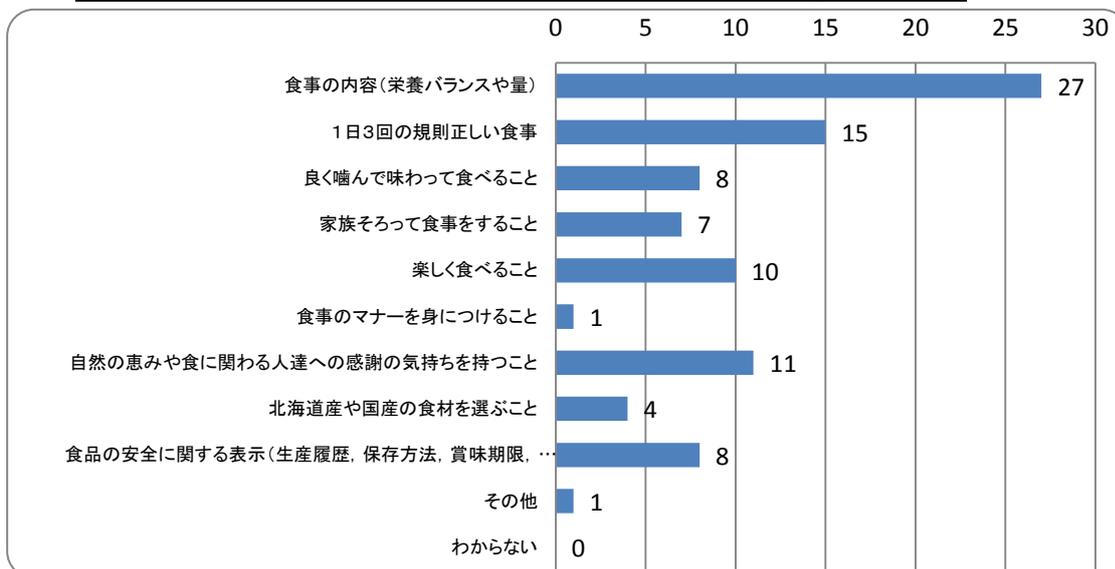
【4】「第2次旭川市食育推進計画」を知っていましたか。

	回答数	割合
名称も内容も知っていた	0	0.0%
名称のみ知っていた	6	19.4%
名称も内容も知らなかった	25	80.6%
合計	31	100%



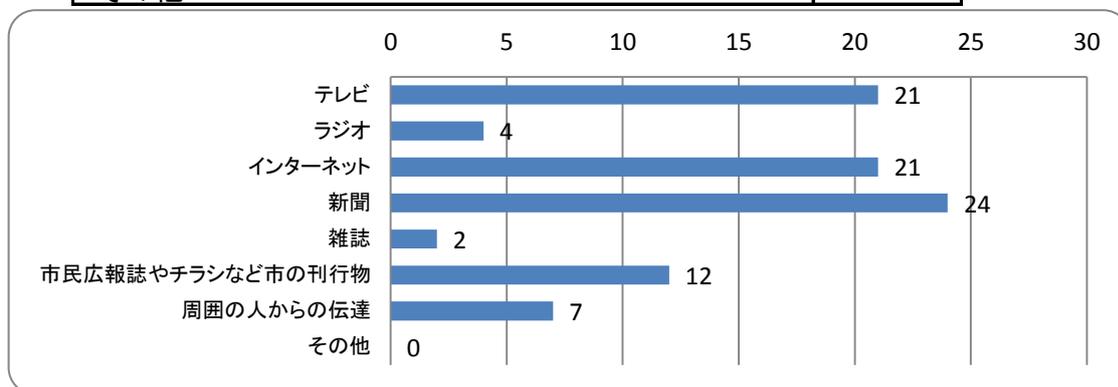
【5】毎日の食事で大切であると思うものは何ですか。(3項目まで回答可)

	回答数
食事の内容(栄養バランスや量)	27
1日3回の規則正しい食事	15
良く噛んで味わって食べる	8
家族そろって食事をすること	7
楽しく食べる	10
食事のマナーを身につける	1
自然の恵みや食に関わる人達への感謝の気持ちを持つ	11
北海道産や国産の食材を選ぶ	4
食品の安全に関する表示(生産履歴, 保存方法, 賞味期限, 消費期限等)を確認	8
その他	1
わからない	0



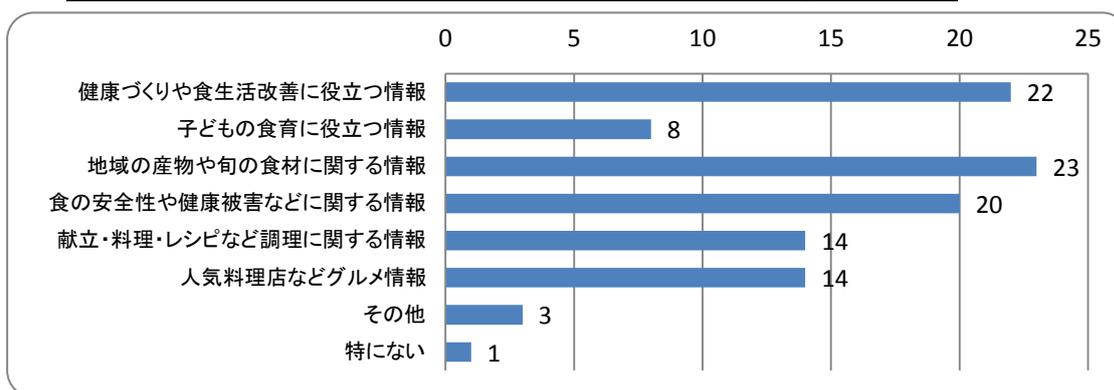
【6】日頃、様々な情報をどこから入手していますか。(3項目まで回答可)

	回答数
テレビ	21
ラジオ	4
インターネット	21
新聞	24
雑誌	2
市民広報誌やチラシなど市の刊行物	12
周囲の人からの伝達	7
その他	0



【7】食に関して関心のある情報はありますか。(該当するもの全て回答可)

	回答数
健康づくりや食生活改善に役立つ情報	22
子どもの食育に役立つ情報	8
地域の産物や旬の食材に関する情報	23
食の安全性や健康被害などに関する情報	20
献立・料理・レシピなど調理に関する情報	14
人気料理店などグルメ情報	14
その他	3
特にない	1



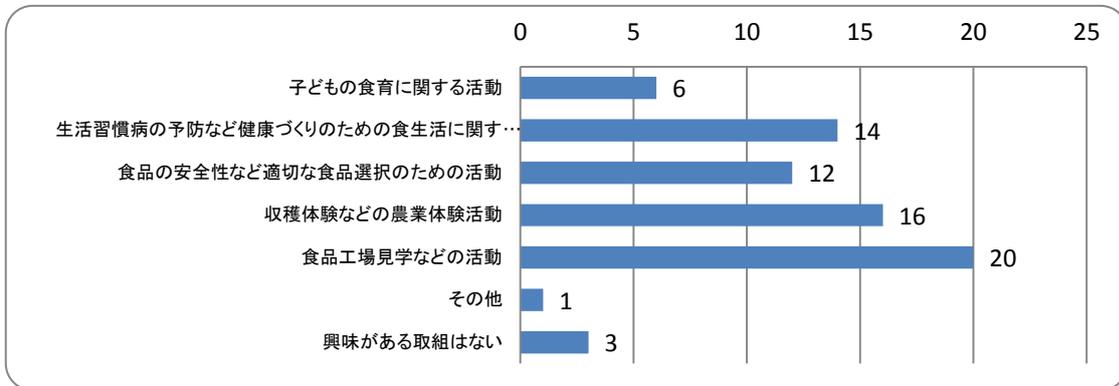
【8】【7】で「その他」と答えた方は、その内容をご記入ください。

<概要>

- 暑い時期なので、食中毒に注意する様心掛けている。
- 食糧自給率の問題などの将来の食糧問題
- 最近、1日3食は必要がないという趣旨の書籍が出回っているが、私も最近朝食を取ると何となく体が重く感じられ、ここ3週間ほど朝食を取らない生活をしている。最初は不安もあったが不思議と身体の調子が良い。
もちろん育ち盛りの子供達はしっかりとした食事が必要で、「食育」も考えなければと思うが、皆同じように考えて良いものか少々疑問を感じる。
現代人は年齢を問わず何となく栄養過多のような気がする。人間が生きていく上で必要不可欠な「食」の本質を深く掘り下げた情報の伝達が必要だと思われる。
- 自然食からの手作り、添加物や加工品などを使わないこと等、食育は生活の基本だと思うのであらゆる情報に興味がある。

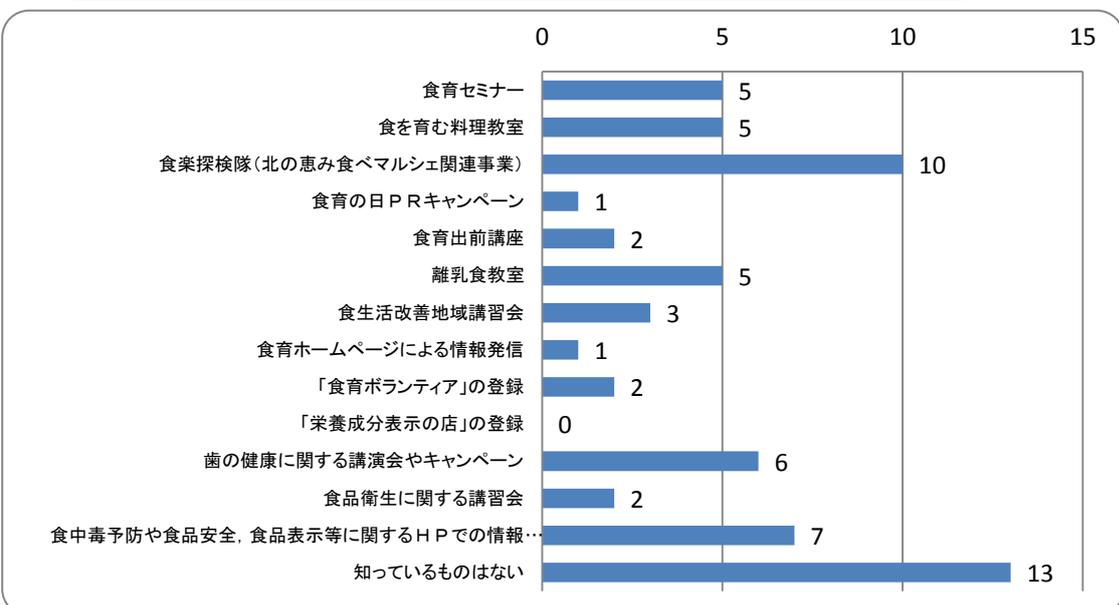
**【9】市や団体、企業などの食育に関する取組で、参加してみたい等興味があるものはありますか
(3項目まで回答可)**

	回答数
子どもの食育に関する活動	6
生活習慣病の予防など健康づくりのための食生活に関する活動	14
食品の安全性など適切な食品選択のための活動	12
収穫体験などの農業体験活動	16
食品工場見学などの活動	20
その他	1
興味がある取組はない	3



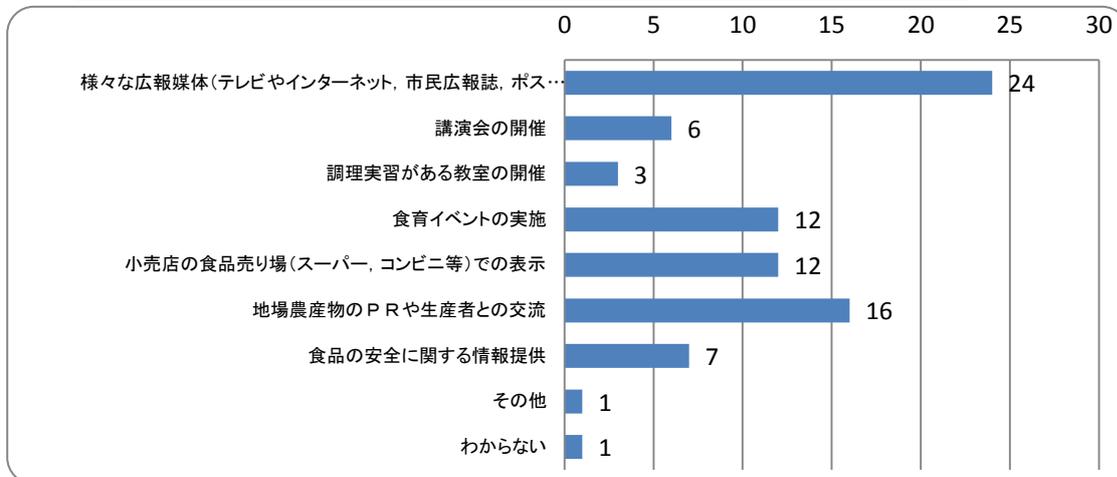
**【10】市保健所が実施している食育に関連する事業で、知っているものは何ですか。
(該当するもの全て回答可)**

	回答数
食育セミナー	5
食を育む料理教室	5
食楽探検隊(北の恵み食べマルシェ関連事業)	10
食育の日PRキャンペーン	1
食育出前講座	2
離乳食教室	5
食生活改善地域講習会	3
食育ホームページによる情報発信	1
「食育ボランティア」の登録	2
「栄養成分表示の店」の登録	0
歯の健康に関する講演会やキャンペーン	6
食品衛生に関する講習会	2
食中毒予防や食品安全、食品表示等に関するHPでの情報提供	7
知っているものはない	13



**【11】市民の食育に対する関心を高めるために、どのような取組が有効だと思いますか。
(3項目まで回答可)**

	回答数
様々な広報媒体(テレビやインターネット、市民広報誌、ポスター、チラシなど)を使ったPR	24
講演会の開催	6
調理実習がある教室の開催	3
食育イベントの実施	12
小売店の食品売り場(スーパー、コンビニ等)での表示	12
地場農産物のPRや生産者との交流	16
食品の安全に関する情報提供	7
その他	1
わからない	1

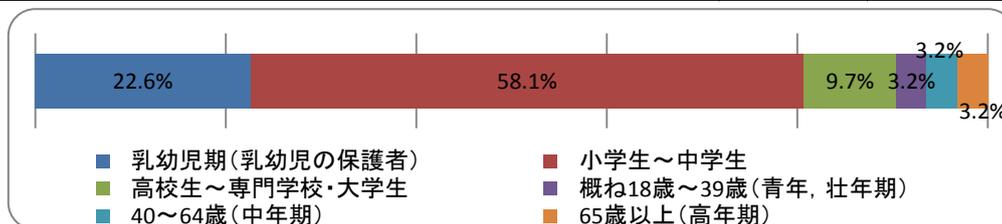


※「その他」の内容

○スーパーマーケットやデパートなど、身近な場所での食育イベントの開催

【13】食育は生涯にわたって必要なものですが、特にどの年代の人を対象に啓発することが有効だと思いますか。

	回答数	割合
乳幼児期(乳幼児の保護者)	7	22.6%
小学生～中学生	18	58.1%
高校生～専門学校・大学生	3	9.7%
概ね18歳～39歳(青年, 壮年期)	1	3.2%
40～64歳(中年期)	1	3.2%
65歳以上(高年期)	1	3.2%
合計	31	100%



【14】自由意見

<概要>

- ① 私は高校生だが、食育や食育に関する取組について全く知らなかった。学校で宣伝などすれば、子から親に伝わっていくのではないかと思う。学生は、新聞や地域広報誌を読む人はあまり多くないと思う。旭川市の色々な取組をもっと広めていくには、学生、特に高校生に、強く魅力的に訴えかけていけば広まると思う。
- ② 「食」を通じて心身とも豊かで健全な「人」を育成するには、子どもたちに、原点である食べ物の「生産現場」を通じて、食について理解してもらいことから始めることが一番大事と思う。

- ③ 食育の重要性が改めて強調されるようになったのは、これまでの義務教育の本来の目標である「日常生活に必要な基礎的な知識を持ち、理解し活用する能力を育てる」ことが不十分だったこととも関連していると思う。
- 義務教育期間の給食指導はもちろん、理科、社会、保健体育などの教科の学習などで、栄養、食物連鎖、生産と消費、流通、望ましい食生活、健康や安全などについて学習する機会は十分にあったはずであるが、それらの内容を日常の生活と結びつけ活用する意識が、教える側、学ぶ側（父母を含む）どちらにも弱く、受験や就職のための能力を向上する道具としてしか役立ててこなかったのではないか。
- 「食育」を取り上げるまでもなく、社会全体が、改めて学校教育の本来の目的を達成する努力を積み上げることが大切である。
- 空腹を感じて食事をとるといふ経験を子供がどれだけしているだろうか。食べたくない、好きでない、おいしそうでないなどの理由で、食べないか残す子供が多い。大人もできるだけ安いもの、流行のもの、ファストフードやインスタント食品など手軽なもので食事を済ませようとする傾向があり、栄養はサプリメントで補給すればよいという大人たちも多い。子供の偏食は、親の偏食と結びついているという指摘もある。食育は、そんな大人たちの意識改革から始めなければならない。
- 今、和食が見直されている。身近で新鮮な食品を季節感を味わいながらバランスよく栄養を摂取でき、栄養学から見ても理に適っているからであろう。
- ④ 学校教育やPTAの学習などで、将来を担う子どもたちへ食育の大切さを広めて欲しい。どこ親も、「子どもを立派に育てたい」との思いは強いと思う。
- 子どもを立派に育てるためには、「食育」が家庭学習以上に大切で、それを親としての「生活習慣」として身につけなければならない。
- ⑤ 以前は食育に関心があったが、最近あまり意識しなくなった。
- 北海道は食糧自給率が200%と言われるが、消費する食料を北海道産で賄う比率はそれほど高くないと思う。地産地消は良く耳にするが、自(地)給自(地)足に力を入れるべきと考える。
- ⑥ 最近核家族化の影響で、小さい子どもの食生活は乱れていると思う。
- 1 朝ご飯を食べない。親が用意しない。遅く寝るので食欲がわかない。
 - 2 日曜や夕食の時に親がいなくて、菓子パンやインスタントラーメンで終わらせる。
 - 3 スーパーなどで、親子とも太っている家族を見かけることがあり、買い物かごにはスナック菓子が多く入っている。
- ⑦ 大学生に、3日分の食事を記録して栄養のバランス(三大栄養素・塩分量も含む)、必要エネルギー量などについて分析する課題を課したことがあり、食に関する関心の程度に個人差が大きいと感じた。
- 大学生は、親元を離れて自炊を始める人もあり、健康の視点からも食育の重要性を感じている。
- ⑧ 「市民が実践する10の行動目標」を見て、自分が実践しているものは半分もないように思う。今後は意識を持って食育を考え、実践したいと思う。
- ⑨ 「食育」は、いかにも役所言葉のような感じで、普及に違和感がある。
- 市民感覚の親しみやすいネーミングは無いのだろうか。
- ⑩ 「食育」と言う言葉は良く耳にするが、その本質までは理解できていない。
- 私見であるが現代人は子供から大人まで栄養過多のように感じられる。例えば、「1日3食規則正しく食事を取り、栄養バランスも考えながら楽しくゆっくりと咀嚼していただきます」と聞くと、人間が生きていく上で本当に1日3食必要なのだろうかという漠然とした疑問がある。
- 食事の「量」や「回数」ではなく、その「質」をもっと深く掘り下げて考えていく必要を感じる。
- ⑪ 年を重ねていくと食生活を変えるのは難しくなるので、子供の頃から学校の授業などで学んでいくのが大切だと思う。
- ⑫ 近年、低年齢の犯罪トラブルなど良く見聞する。
- どこまでの関わりとは言えないが、適切な時期に正しく豊かな食育を受けることで、このような事態が防げる場合もあるかと思う。
- ⑬ 子供がいない人の食育への関心をどのように高めたり、自身との関連がどうあるのか啓発する必要があると思う。
- ⑭ 最近の子供は、食材が自分の口に入るまでの経路の知識が昔に比べて低い印象がある。
- 我が家では、プランター栽培でミニトマトを作り、3人の子どもたちに、最初から最後までの流れを見せ、水やりや収穫も出来る限りやらせている。子供心に、食べ物を作ることの大変さや食べ物の有り難さを少しでも理解してもらえれば嬉しい。
- 子ども達の食育には、言葉で教育するよりも、実際の体験を通じて教えていく事が重要。もちろん、子を持つ親の意識も高めなければならない。
- ⑮ 健康に暮らすため、食に関する知識を持つことは大切であると思う。特に、偏った食になりがちな一人暮らしの方が、正しい知識と実践したくなるような機会を得られるように働きかけることが重要だと思う。